



羅針盤

大原 國章
Kuniaki Ohara

虎の門病院, Visual Dermatology 編集委員長



高松塚古墳にて。

「耳の皮膚病変」執筆にあたって

本号は耳の特集です。編集者として、特集の題材に特定の疾患あるいは部位を選ぶのは安易かもしれませんが、今まで他誌を含めても耳を取り上げた企画は少ないように思います。編集会議でも私の提案に他の編集者の賛同が得られましたので、この耳特集が実現した次第です。

以前にも陰部疾患を特集したことがあり、部位別特集は自分としてはこれが二回目になります。今回は、項目を広く集めるために、先ず疾患を選びだし、そして執筆者に依頼するという通常の手順を踏みました。しかし今回は、諸般の事情により編集に割く時間的余裕がなくなってしまう、言い出しっぺが責任を取って全部自分で書くことになりました。ですから、取り上げた項目は私の守備範囲の疾患に偏りがちで、炎症性疾患が不足しています。過去の本誌に掲載された症例を転載するのも考

えましたが、統一性を貫き、筆者の個性を出すということで、あえて大原コレクションの体裁で押し通しました。

項目立てとしては、診察・診断の過程に即して症状別とし、疾患別とはしていません。同じような症状を呈していても、病態としては様々なものが含まれています。ある症状をみたときに、その症状の成り立ちを考え、類似の症状を呈するいくつかの疾患を思い浮かべ、そこから診断を絞っていく、それが日常診療の手順だと思います。診断を考える一助のつもりで、各項目について、私なりの簡単な解説を付けておきました。

付記：過去にさかのぼって症例を集めるのに際し、カルテや病理標本の収集に多大の尽力をしていただいた横山明子嬢に感謝いたします。



ルーブル美術館「サモトラケのニケ」。彫像そのものは説明するまでもありませんが、船型の台座までご存じだった方は少ないのでは？ 私のお気に入りの一枚です。

ちなみに、スポーツ用品メーカーの「NIKE」とは、このニケのことです。



京都西賀茂の正伝寺にて。比叡山を借景に。